

NEWS LETTER

特別支援学校就労応援団とやまニュースレター vol. 4 令和4年1月発行

事例紹介 ケース3 「ジョブコーチによるスキルアップ支援」

今回は、小林製薬チャレンジド株式会社（工場内の清掃や軽作業）においての企業在籍型ジョブコーチによるスキルアップ支援の取組を紹介します。

支援対象（入社6年目のAさん）

ジョブコーチは、知的障害のあるAさんに頼もしい人材になって欲しいと思っている。周囲の支援者は、そのためにはいくつかの課題があると思っている。

ジョブコーチによる支援の実際

- ①意見収集…社内支援者全員と本人から、Aさんの「強み」「期待」「改善点」を集める。
- ②課題抽出…収集した意見から課題を設定する。（Aさんへの「期待」は、課題の裏返しと考えた。）
 - ・いつも正しく作業をしてほしい。（自己管理スキル）
 - ・周囲の人と連携してほしい。（コミュニケーションスキル）
- ③観察…Aさんを観ると、掃除が自己流になっていることが分かった。
→Aさんがすぐにできることは、掃除の質を上げること。
- ④手順や作業方法の工夫の促し

企業在籍型ジョブコーチとは？

障害者を雇用する企業に雇用されるジョブコーチです。

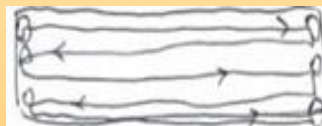
企業在籍型ジョブコーチ養成研修を修了した社員が、障害者の職場適応のための様々な支援を行います。企業の障害者雇用の取組として活用されています。

詳しくは、富山障害者職業センターにお問い合わせ下さい。
(TEL076-413-5515)

指導・助言の例



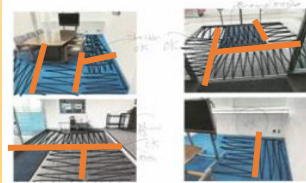
Aさんの自己流



基本手順

床掃除の手順について、自己流と基本手順を比較させ、気づくようにする。

“最初にやる場所を区切る”



掃除を行う場所を区切ることで基本の手順を行いやすくする。



声がけを短くさりげなく行い、作業方法を考えさせながら教える。

例「（その場所に置いて）邪魔にならない？」と声を掛ける。理解できなくても、粘り強く繰り返す。

Aさんの変化 本人の記述より

- ・慣れた業務でも自己流になっていないかを見直すことで効率よくできるようになった。

特別支援学校就労応援団とやま登録企業数

83社（令和3年12月20日現在）

富山県教育委員会

県立学校課 特別支援教育班 発行

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

TEL 076-444-3451

FAX 076-444-4437

登録企業については、インターネットで「就労応援団とやま」で検索し、サイトでご確認ください。

「自分たちに何ができるだろう…」とお悩みの企業様。まずは、特別支援学校にお気軽に声をおかけください。そして、特別支援学校の生徒の姿や学習の様子をご覧ください。企業様と生徒との出会いが大切です。